

## 第5回 経営協議会 議事要録

日時 平成16年9月30日(木) 15時00分～16時30分  
場所 事務局第1会議室  
出席者 平山郁夫学長、太田和良幸理事、福原義春理事、川井 學音楽学部長、  
石田義雄委員、海老澤 敏委員、佐々木正峰委員、高階秀爾委員、  
玉井賢二委員、根本二郎委員、園田秋雄会計課長  
監事：東條伸一郎監事、竹内雄也監事  
欠席者 六角鬼丈美術学部長

### 議題

1. 平成17年度予算編成方針(案)について  
議長から標記のことについて提案があり、会計課長から資料に基づいて説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。
2. 中期計画期間における財源確保について  
議長から標記のことについて提案があり、太田和理事から資料に基づいて説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。  
なお、このことに関して、次の意見が出された。  
複製品を販売するには、当然制作費用がかかるので、コスト計算を十分に行い、さらに販売ルートを確保することが重要である。  
芸術教育はその性質上多くの教員を必要とするものであり、非常勤講師手当の合理化・節減に当たって人員を削減する場合は、教育研究体制の脆弱化を招かないようにしなければならない。  
寄附講座を設置することを考慮して募金活動を行うことも一方法である。  
大学美術館の所蔵品を整理して、売却することも考えられるのではないか。  
寄附集めは工夫次第ではないか。また、プロデューサーが必要である。

### 報告及び連絡事項

1. 平成17年度収入・支出概算要求書について  
標記のことについて、会計課長から資料に基づき報告があった。
2. 平成16年度学長裁量経費部局別配分事項について  
標記のことについて、会計課長から資料に基づき報告があった。
3. 平成16年度開始貸借対照表について  
標記のことについて、会計課長から資料に基づき報告があった。
4. 大学院映像研究科設置準備室要項について  
標記のことについて、総務課長から資料に基づき報告があった。

5. 大学院映像研究科設置計画審査結果の伝達について

野田理事から、9月8日に文科省から伝達された内容について下記のとおり報告があった。

申請の教員8名について全員㊶(修士課程の研究指導教員)として認められた。

ただし、「強い要望意見」として次の3点について詳述を求められており、審査が継続中であることから、審査結果についてはオープンにできないこと。

施設・設備の状況について 入試選抜方法について

教育主任制の内容について

今後の予定

10月8日までに「強い要望意見」に対する補正計画書提出

10月中旬に設置計画審査

11月にオープンになる予定

6. 平成16年度現代的教育ニーズ取組支援プログラムの審査結果について  
標記のことについて、入学主幹から資料に基づき報告があった。

7. 平成16年度海外先進教育研究実践支援プログラムの審査結果について  
標記のことについて、総務課参事役から資料に基づき報告があった。

8. 横山大観「海山十題」展入館者数等について  
標記のことについて、大学美術館事務長から資料に基づき報告があった。